

## 評価対象期間

令和2年4月1日～令和3年3月31日

### I 教育理念・教育目標

#### 【評価・改善点】

令和1年度に比べて0.03ポイント低下という結果であった。

令和4年度のカリキュラム改正に向けて、社会情勢や地域の現状を時代背景や今どきの若者の実状に合わせ、全教員で検討を行い共通理解できた。社会人基礎力育成、看護実習力向上の重要性については共通認識しているが具体的な指針はまだ十分な議論が尽くされていない。

### II 教育目標

#### 【評価・改善点】

令和1年度に比べて0.24ポイント低下という結果であった。

2022年のカリキュラム改正に向けて教育目標の見直しが行われている。教育活動のゴールを示すものであり、今後もさらに検討を重ねる必要がある。

### III 教育課程経営

#### 【評価・改善点】

令和1年度に比べて0.18ポイント低下という結果であった。

特に低値なのが、教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えているの項目である。実習指導で多くの時間を割かれるということが主たる要因であるとのことなので、実習病院の指導者並びに実習指導教員との連携強化を一層図り、授業準備のための時間確保に努めていただきたい。

### IV 教授・学習・評価課程

#### 【評価・改善点】

令和1年度に比べて0.13ポイント低下という結果であった。

課題である各教員の教授活動の評価基準が明確になるよう検討すべくカリキュラム委員会の活動を有効的に運営することを提案する。

### V 経営・管理課程

#### 【評価・改善点】

令和1年度に比べて0.14ポイント低下という結果であった。

学内組織の意思決定は、職員会議 教員会議 運営会議などで適切に実施されていることは議事録にて確認できるが、自己点検・評価では、ポイントが低い。要因を探る必要がある。

## VI 入学

### 【評価・改善点】

令和1年度に比べて0.33ポイント低下という結果であった。

少子化、県内の看護師養成校の増加などを踏まえ 選ばれる学校づくりについて引き続き検討をしてほしい。

## VII 卒業・就職・進学

### 【評価・改善点】

令和1年度に比べて0.36ポイント低下という結果であった。

就職先の病院訪問を継続し、得られた情報を教育活動に反映させていただきたい。

## VIII 地域・国際交流

### 【評価・改善点】

令和1年度に比べて0.07ポイント低下という結果であった。

コロナウイルス感染症の流行により活動の縮小が余儀なくされた。

状況をみながら活動の再開が望まれる。

## IX 研究

### 【評価・改善点】

令和1年度に比べて0.39ポイント上昇という結果であった。

教員の研究能力の開発についての努力を期待する。